

## 第4回「万葉集・明日香村」を中心とした授業づくりセミナー 概要報告

大西 浩明

◇日 時 2024年12月7日(土) 10:00~12:00

◇場 所 県立万葉文化館

◇参加者 【学生】東、田中

【院生】伊藤

【万葉文化館】阪口、中本

【大学教員】米田、大西 計7名



◇内 容 単元構想案の検討

### 1. 田中愛花さん(国語教育専修3回生)

中学校3年国語科「万葉の世界から今へ ～過去・現在・未来へ思いよ届け～

#### 【構想】

1. 万葉集の歌をいくつか取り上げ、歌に込められた思いを背景とともに確認する

万葉文化館の見学、研究員さんからのレクチャー

(地名が入った歌)

「青丹よし 奈良の都は咲く花の薫ふがごとく 今盛りなり」

(恋の歌)

「あかねさす 紫野行き標野行き、野守は見ずや 君が袖振る」

2. 入江泰吉が万葉の写真の撮り始めたことについて考える

写真美術館学芸員さんとの出会い

3. いくつかある歌の中から好きな歌を選び、歌に合うような写真を撮る

4. 選んだ歌に合わせて、撮影した写真を紹介する

#### 【意見交流から】

- ・万葉文化館の「万葉百科」にアクセスして、好きな歌を選ぶとよいのでは。
- ・1の段階で万葉集を取り上げる際に、すでに写真と一緒にの方がイメージしやすいのではないか。
- ・1から2へのつながりが唐突。どうやって入江泰吉をつなぐかを考えても、1の段階で入江の作品を提示す方がいい。
- ・古典ではなく国語科としてこの授業を考えるなら、4で紹介文を「書く」という言語活動を大事にしたい。
- ・入江の作品集に、写真と万葉集を絡めた説明文があるので、まずそれを例示してやると分かりやすい。
- ・「過去・現在・未来」とテーマにあるが、「未来」にはどうつなげていくか？
  - 過去と現在では価値観が違うところ、共通するところがある。それを考えるのも一つ。  
入江が万葉の風景に思いを馳せて写真を撮ったように、人の思いも時間を超えてつながっていくものということを感じさせたい。
- ・自分で思い通りの写真が撮影できるか難しいところがある。
  - 入江泰吉の写真集から歌に合うものを選ぶということでもいいのではないか。  
むしろ、その方が入江の写真のすごさにも気付けるのではないだろうか。

